PC98-NXシリーズ

Mate/Mate J

液晶一体型
（Windows XP Professionalインストールモデル）
（Windows XP Home Editionインストールモデル）
（Windows 2000 Professionalインストールモデル）

はじめにお読みください

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
梱包箱を開けたら、まず本書の手順通り操作してください。

本書では、特にことわりのない場合、Windows XP Professional、およびWindows XP Home Editionを、総称してWindows XPと表記します。
また、Windows 2000 Professionalを、以降Windows 2000と表記します。

なお、本書に記載のイラストはモデルにより多少異なります。

操作の流れ

1 型番を控える 2
本製品の型番を控えます。

2 添付品の確認 8
不足しているものや、破損しているものがないかを最初に確認します。

3 設置場所の決定 10
設置する場所を決めます。

4 添付品の接続 12
使い始めるのに必要な機器を接続します。接続する前には、必ず添付の『安全にお使いいただくために』をお読みください。

5 Windowsのセットアップ 17
初めて電源を入れるときには、Windowsをセットアップします。

6 お客様登録 28
お客様の登録をします。

7 マニュアルの使用方法 28
添付されているマニュアルの使い方について説明しています。

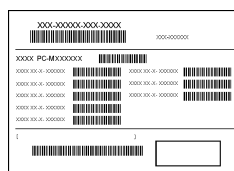
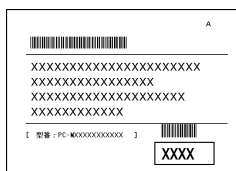
8 使用する環境の設定と上手な使い方 31
使用する環境や運用、管理する上で便利な機能を設定します。

9 付録 機能一覧 35
本機の仕様を一覧表にまとめています。

1 型番を控える

型番を控える

梱包箱のステッカーに記載されている15桁の型番(以降、スマートセレクション型番と呼びます)、またはフリーセレクション型番(フレーム型番とコンフィグオプション型番)を、このマニュアルに控えておきます。型番は添付品の確認や、再セットアップをするときに必要になりますので、必ず控えておくようにしてください。

フリーセレクション型番の場合は、型番を控えておかないと、梱包箱をなくした場合に再セットアップに必要な情報が手元に残りません。

左が「スマートセレクション型番」、右が「フリーセレクション型番」のステッカーです。スマートセレクション型番のステッカーの場合は、「スマートセレクション型番を控える」へ、フリーセレクション型番のステッカーの場合は、P.5「フリーセレクション型番を控える」へ進んでください。

スマートセレクション型番を控える

スマートセレクション型番を控えます。控え終わったら、P.8「2 添付品の確認」へ進んでください。

1. スマートセレクション型番を次の枠に控える

[型番：PC-MXXXXXXXXXXX]

XXXX

スマートセレクション型番

PC-M❶11FF❷❸❹❺❻F

□の意味は次の通りです。

❶モデルの種類を表しています。

✓	型　番	モデル
	Y	Mate
	J	Mate J

❷ディスプレイの種類を表しています。

✓	型　番	ディスプレイ
	E	17型TFT-LCD
	R	15型TFT-LCD

❸インストールOS､選択アプリケーションの種類を表しています。

✓	型　番	インストールOS	選択アプリケーション
	E	Windows XP Professional	なし
	J		Office Personal 2003
	U	Windows XP Home Edition	なし
	W		Office Personal 2003
	Y	Windows 2000 Professional	なし
	3	Windows 2000 Professional インストールサービス	
	4		Office Personal 2003
	6	Windows 2000 Professional	

❹FDD、CD-ROM系、キーボード、マウスの種類を表しています。

<table>
<tr><th>✓</th><th>型番</th><th>FDD</th><th>CD-ROM系</th><th>キーボード、マウス</th></tr>
<tr><td></td><td>A</td><td rowspan="8">FDD</td><td>CD-ROM</td><td>テンキー付きPS/2小型キーボード&PS/2マウス</td></tr>
<tr><td></td><td>D</td><td rowspan="2">CD-R/RW with DVD-ROM</td><td>PS/2 109キーボード&PS/2マウス</td></tr>
<tr><td></td><td>E</td><td>テンキー付きPS/2小型キーボード&PS/2マウス</td></tr>
<tr><td></td><td>M</td><td>CD-ROM</td><td rowspan="2">USB 109キーボード&USBマウス</td></tr>
<tr><td></td><td>S</td><td>CD-R/RW with DVD-ROM</td></tr>
<tr><td></td><td>T</td><td rowspan="2">CD-ROM</td><td>PS/2 109キーボード&PS/2マウス</td></tr>
<tr><td></td><td>4</td><td rowspan="2">USB 109キーボード&光センサーUSBマウス</td></tr>
<tr><td></td><td>9</td><td>CD-R/RW with DVD-ROM</td></tr>
</table>

❺合計メモリの容量、通信機能、再セットアップ用媒体の種類を表しています。

<table>
<tr><th>✓</th><th>型番</th><th>通信機能</th><th>合計メモリの容量</th><th>再セットアップ用媒体</th></tr>
<tr><td></td><td>E</td><td rowspan="6">LAN</td><td>256MB</td><td rowspan="3">再セットアップ用CD-ROM添付</td></tr>
<tr><td></td><td>5</td><td>512MB</td></tr>
<tr><td></td><td>8</td><td>1GB</td></tr>
<tr><td></td><td>C</td><td>256MB</td><td rowspan="3">再セットアップ用バックアップイメージをHDDに格納</td></tr>
<tr><td></td><td>G</td><td>512MB</td></tr>
<tr><td></td><td>N</td><td>1GB</td></tr>
</table>

❻ハードディスクの容量の種類を表しています。

✓	型番	ハードディスクの容量
	B	40GB
	8	80GB
	S	160GB

※上記の❶〜❻のすべての組み合わせが実現できているわけではありません。

以上で型番を控えるのは完了です。
次にP.8「2 添付品の確認」へ進んでください。

フリーセレクション型番を控える

フレーム型番とコンフィグオプション型番を控えます。控え終わったら、P.8「2添付品の確認」へ進んでください。

1. フレーム型番を次のチェック表にチェックする

□の意味は次の通りです。

❶モデルの種類を表しています。

✓	型　番	モデル
	Y	Mate
	J	Mate J

❷ディスプレイの種類を表しています。

✓	型　番	ディスプレイ
	E	17型TFT-LCD
	R	15型TFT-LCD

❸インストールOSの種類を表しています。

✓	型　番	インストールOS
	E	Windows XP Professional
	U	Windows XP Home Edition
	Y	Windows 2000 Professional
	3	Windows 2000 Professional インストールサービス

2. コンフィグオプション型番を次のチェック表にチェックする

コンフィグオプション型番

次のコンフィグオプション(以降、COPと略します)型番のうち、❶〜❹はどのモデルにも必須でステッカーには必ず記載されています(選択必須)。❺〜❽は選択したモデルやオプションによってステッカーに記載されます(任意選択)。また、ステッカーに記載されているCOP型番は順不同になっています。
COP型番に記載されている英数字の意味は次の通りです。

❶PC-D-KB□□□8、PC-E-KB□□□8はキーボード、マウスを表しています。(選択必須)

✓	型　番	キーボード、マウス
	10T	テンキー付きPS/2小型キーボード&PS/2マウス
	10U	テンキー付きUSB小型キーボード&USBマウス
	PS2	PS/2 109キーボード&PS/2マウス
	USB	USB 109キーボード&USBマウス

❷PC-D-1H□□□□、PC-E-1H□□□□はハードディスクの容量を表しています。(選択必須)

✓	型　番	ハードディスクの容量
	G16C	160GB
	F80B	80GB
	G40C	40GB
	S16C	160GB(StandbyDisk Soloあり)
	S80C	80GB(StandbyDisk Soloあり)
	S40C	40GB(StandbyDisk Soloあり)

❸PC-D-ME□□□□、PC-E-ME□□□□は合計メモリの容量の種類を表しています。(選択必須)

✓	型　番	合計メモリの容量
	F10B	DDR SDRAM　1GB
	F20B	DDR SDRAM　2GB
	F25C	DDR SDRAM　256MB
	F52B	DDR SDRAM　512MB

❹PC-D-CD□□□F、PC-E-CD□□□FはCD-ROM系を表しています。(選択必須)

✓	型　番	CD-ROM系
	VCD	CD-ROM
	VRD	CD-R/RW with DVD-ROM
	VDS	DVDスーパーマルチドライブ

❺PC-D-NE□□□9、PC-E-NE□□□9は通信機能を表しています。(任意選択)

✓	型　番	通信機能
	WLB	無線LAN(IEEE802.11a/b/g)

❻PC-D-AP□□□□、PC-E-AP□□□□は選択アプリケーションを表しています。(任意選択)

✓	型　番	選択アプリケーション
	SSE8	Office Personal 2003
	SPE9	Office Professional Enterprise 2003

❼PC-D-SU□□□2-S、PC-M-SU□□□1-Sは保守パックを表しています。(任意選択)

✓	型　番	保守パック
	101	PC98-NXSeriesSupportPack 3年間保守
	102	PC98-NXSeriesSupportPack 4年間保守

❽PC-D-SP□□□6、PC-E-SP□□□6は再セットアップ用媒体を表しています。(任意選択)

✓	型　番	再セットアップ用媒体
	BCH	再セットアップ用CD-ROM (Windows XP Home Editionモデル専用)
	BCX	再セットアップ用CD-ROM (Windows XP Professionalモデル専用)

以上で型番を控えるは完了です。

次のページの「2 添付品の確認」へ進んでください。

2 添付品の確認

添付品を確認する

梱包箱を開けたら、まず添付品が揃っているかどうか、このチェックリストを見ながら確認してください。万一、添付品が足りない場合や破損していた場合は、すぐにご購入元にご連絡ください。

梱包箱には、このチェックリストに記載されていない注意書きの紙などが入っている場合がありますので、本機をご使用いただく前に必ずご一読ください。また、紛失しないよう、保管には充分気を付けてください。

❶箱の中身を確認する

P.3の1またはP.5の1、P.6の2の型番を参照すると、よりわかりやすくなります。

□ は、各々1つにパックされています。

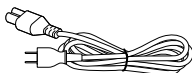
□保証書(本体梱包箱に貼り付けられています)

保証書は、ご購入元で所定事項をご記入の上、お受け取りになり、保管してください。保証期間中に万一故障した場合は、保証書の記載内容にもとづいて修理いたします。保証期間後の修理については、ご購入元、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。

□はじめにお読みください(このマニュアルです)

□本体(キーボードなどの周辺機器を含まないMate、またはMate Jを指します)

□キーボード　□マウス

□電源ケーブル

□ACアダプタ

マニュアル

□ソフトウェアのご使用条件(お客様へのお願い)
(箱の中身を確認後必ずお読みください)
□ソフトウェア使用条件適用一覧/添付ソフトウェアサポート窓口一覧
(箱の中身を確認後必ずお読みください)
□アプリケーションCD-ROM／マニュアルCD-ROM
(Windows XPモデルのみ)
□バックアップCD-ROM(OSを除く)／アプリケーションCD-ROM／マニュアルCD-ROM(Windows 2000モデルのみ)
□安全にお使いいただくために
□活用ガイド　再セットアップ編
□保証規定&修理に関するご案内
□環境ガイド

❷本体の底面にある型番、製造番号と保証書の型番、製造番号が一致していることを確認する

PC-MX XXX…XX

万一違っているときは、すぐにご購入元に連絡してください。また保証書は大切に保管しておいてください。
なお、フリーセレクション型番の場合は、フレーム型番のみが表示されています。

以上で添付品の確認は完了です。
次のページの「3 設置場所の決定」へ進んでください。

3 設置場所の決定

設置場所を決める

○ 設置に適した場所

設置に適した場所は次のような場所です。

◆屋内

◆温度10℃～35℃、湿度20％～80％（ただし結露しないこと）

◆平らで十分な強度があり、落下のおそれがない（机の上など）

× 設置に適さない場所

次のような場所には設置しないでください。本機（本体とキーボードなどを含んだMate、またはMate Jを指します）の故障や破損の原因となります。

◆磁気を発生するもの（扇風機、スピーカなど）や磁気を帯びているものの近く

◆直射日光があたる場所

◆暖房機の近く

◆薬品や液体の近く

◆腐食性ガス（オゾンガスなど）が発生する場所

◆テレビ、ラジオ、コードレス電話、携帯電話、他のディスプレイなどの近く

◆人通りが多くてぶつかる可能性がある場所

◆ドアの開け閉めで、ドアが当たる場所

◆ホコリが多い場所

◆本体背面および側面にある通風孔がふさがる場所

◆テレビ、ラジオなどと同じACコンセントを使う場所

設置場所が決まったら……

設置する場所が決まったら、本機の設置と添付品の接続を行うため、次の点を確認してください。
本機は精密機器ですから、慎重に取り扱ってください。乱暴な取り扱いをすると、故障や破損の原因となります。
本機の接続部は、背面および両側面にあります。いきなり壁際に本機を置いてしまうと、うまく接続できません。机などの裏側に回って接続できるような場所を選んでください。
通風孔をふさがないようにできるだけ15cm以上のスペースを確保してください。また、キーボードやマウスが余裕を持って操作できる場所も必要です。

本機を移動するときは……

本機に接続している、すべてのケーブル(電源ケーブルなど)を取り外してください。
本機を持ち上げるときは、ディスプレイの画面が見えるほうに立ち、左右から手を入れて底面を持ってください。また、移動中に壁などにぶつけたりすると、故障や破損の原因となりますので、大切に取り扱ってください。

以上で設置場所の確認は完了です。
次のページの「4 添付品の接続」へ進んでください。

4 添付品の接続

接続するときの注意

・**LANケーブル(別売)は接続しない**
LANケーブルは、本機を安全にネットワークに接続させるため、Windowsのセットアップ、ファイアウォールの設定を終了させてから接続するようにしてください。

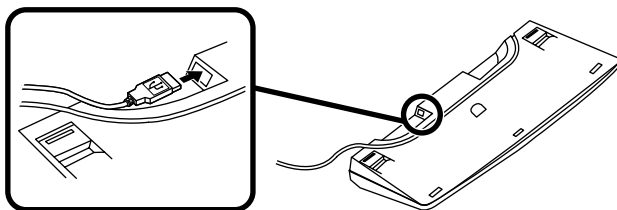
・**本機を接続するときは、コネクタの端子に触れない**
故障の原因となります。

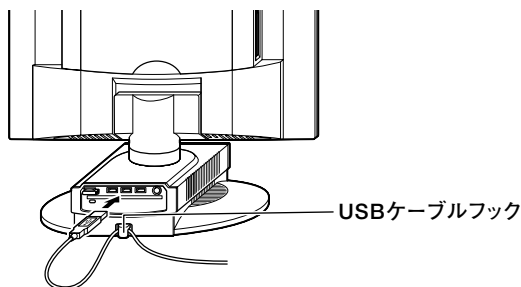
添付品の接続方法

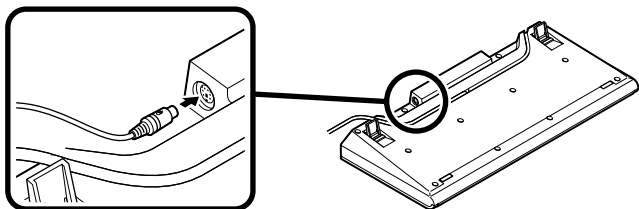
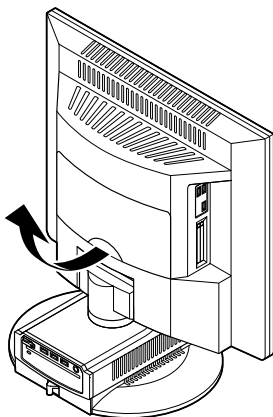
1. マウス、キーボードを接続する

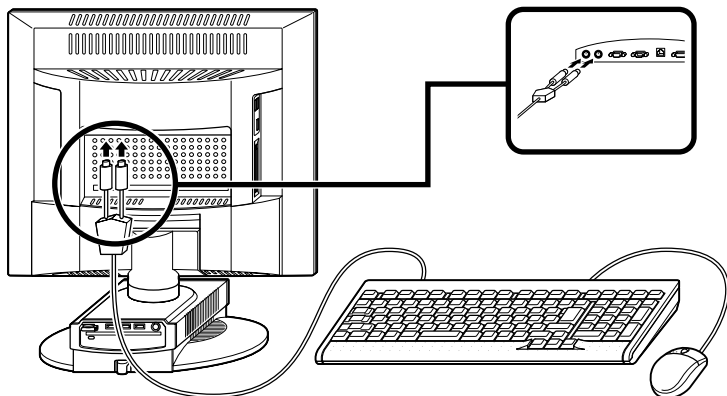
お使いのキーボードにより、❶〜❸のいずれかで接続してください。

❶USB接続のキーボードを接続する場合(ここではUSB 109キーボードを例に説明します)

①添付のマウスをキーボードに接続する

②USBケーブルフックにキーボードのケーブルを引っ掛けてから、USBコネクタに接続する

この場合、本体の3つのUSBコネクタの、どれを使用しても構いません。
※USBケーブルフックを利用するとUSBコネクタの抜け防止に役立ちます。

❷PS/2接続のキーボードを接続する場合(ここではテンキー付きPS/2小型キーボード(縦置き収納型)を例に説明します)

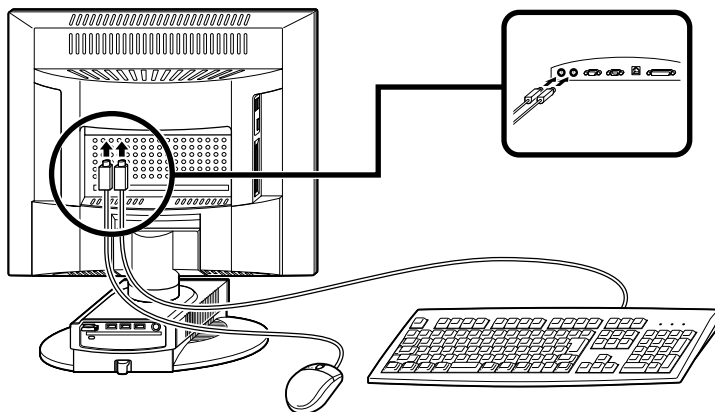
①添付のマウスをキーボードに接続する

②本体背面のケーブルカバーを取り外す

③キーボードから出ているマウス（緑）とキーボード（紫）のケーブルを、本体の同色のアイコンに従ってそれぞれ接続する

PS/2接続のキーボードを接続する際、過度の力がかかると本体が転倒するおそれがありますので、必ず本体上部を片方の手で支えながら接続してください。

④手順②で取り外したケーブルカバーの上側から出ている2つのツメを、本体側の穴に入れてから、ケーブルカバーを元通り取り付ける

❸PS/2接続のキーボードを接続する場合（ここではPS/2 109キーボードを例に説明します）

①P.13「❷-②本体背面のケーブルカバーを取り外す」と同じ方法で、ケーブルカバーを取り外す

②添付のマウス(緑)、キーボード(紫)を本体の同色のアイコンに従ってそれぞれ接続する

PS/2接続のキーボードを接続する際、過度の力がかかると本体が転倒するおそれがありますので、必ず本体上部を片方の手で支えながら接続してください。

③手順①で取り外したケーブルカバーの上側から出ている2つのツメを、本体側の穴に入れてから、ケーブルカバーを元通り取り付ける

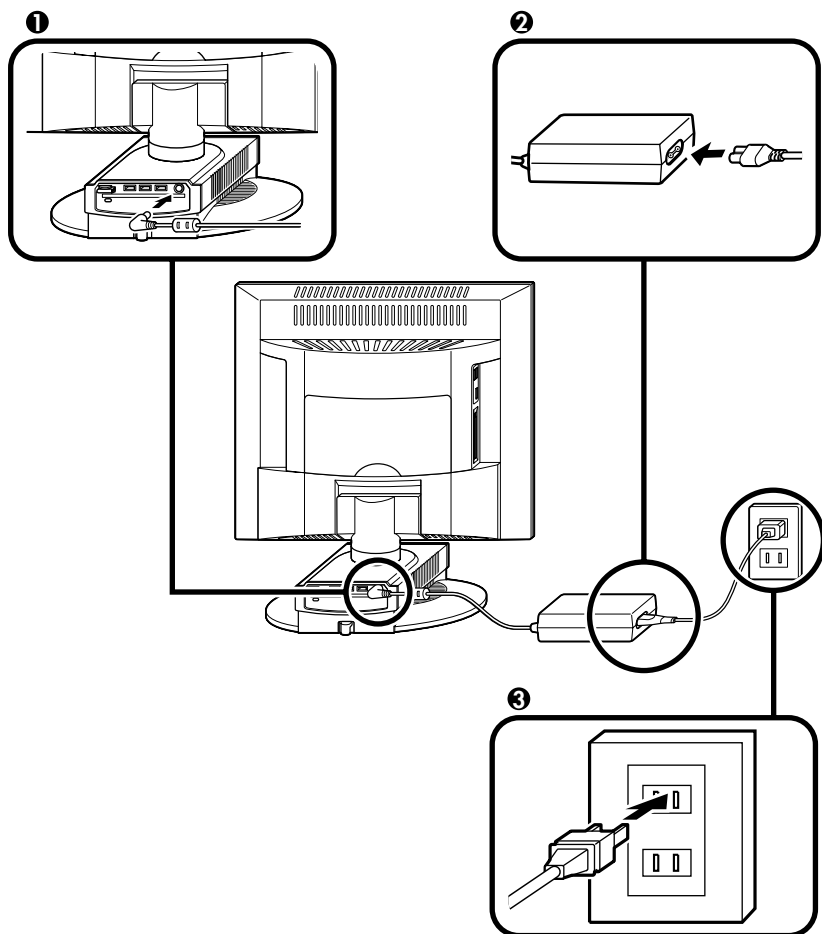
2. ACアダプタと電源ケーブルを接続する

❶～❸の順番に接続してください。

❶ACアダプタを本体背面のAC電源コネクタに差し込む

❷電源ケーブルをACアダプタに接続する

❸電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

一度電源が入り、数秒で電源が切れます。(故障ではありません)

以上で添付品の接続は完了です。
次のページの「5 Windowsのセットアップ」へ進んでください。

5 Windowsのセットアップ

初めて本機の電源を入れるときは、Windowsセットアップの作業が必要です。

セットアップをするときの注意

本機は、Windowsのセットアップ中、ドライバがセットアップされるまで、「ハードディスク/光ディスクアクセスランプ」はハードディスクアクセスの時に点灯しませんが、セットアッププログラムは正常に動作しています。そのまま手順に従い操作を行ってください。

- **周辺機器は接続しない**
  この作業が終わるまでは、「4 添付品の接続」で接続した機器以外の周辺機器(プリンタや増設メモリなど)の取り付けを絶対に行わないでください。これらの周辺機器を本機と一緒に購入した場合は、先に「5 Windowsのセットアップ」から「8 使用する環境の設定と上手な使い方」の作業を行った後、周辺機器に添付のマニュアルを読んで接続や取り付けを行ってください。

- **LANケーブル(別売)は接続しない**
  LANケーブルは、本機を安全にネットワークに接続させるため、Windowsのセットアップ、ファイアウォールの設定を終了させてから接続するようにしてください。

- **途中で電源を切らない**
  作業の途中では絶対に電源を切らないでください。作業の途中で、電源スイッチを操作したり電源ケーブルを引き抜いたりすると、故障の原因になります。途中で画面が止まるように見えることがあっても、セットアッププログラムは動作していることがあります。故障ではありませんので慌てずに手順通り操作してください。

- **セットアップ中は放置しない**
  キー操作が必要な画面で、本機を長時間放置しないでください。

障害が発生した場合や誤って電源スイッチを押してしまった場合は、P.23「セットアップ中のトラブル対策」をご覧ください。

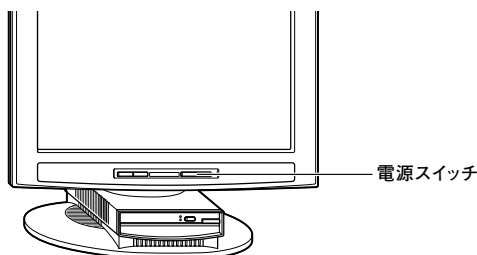
セットアップを始める前の準備

- Windowsセットアップ中に本機を使う人の名前を入力する必要があります。登録する名前を決めておいてください。

・Windows 2000をお買い上げの方は、Windowsセットアップ中にプロダクトキー（『Windows® 2000 Professionalクイックスタートガイド』をパックしているビニール袋に貼られています）を入力する必要があります。プロダクトキーは再セットアップするときにも必要になりますので、なくさないようにしてください。

電源を入れる

❶電源スイッチを押す

電源ランプが点灯します。

セットアップの作業手順

以降は、お買い上げいただいたオペレーティングシステムに従って、「1.Windows XP Professionalのセットアップ」、P.20「2.Windows XP Home Editionのセットアップ」、またはP.21「3.Windows 2000のセットアップ」に進んでください。

また、Ghostについては、「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」、または「バックアップCD-ROM（OSを除く）/アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」内の「Ghost.txt」をご覧ください。

1. Windows XP Professionalのセットアップ

Windows XP Professionalのセットアップを開始します。

- これ以降は、セットアップの作業が完了するまで、電源スイッチに絶対に手を触れないでください。セットアップが完了する前に電源を切ると、故障の原因になります。
- 「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されるまで時間がかかります。しばらくお待ちください。
- 手順④〜⑨の設定方法についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

❶「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

❷「使用許諾契約」画面を確認する
をクリックするか、キーボードの【PageDown】を押すと、「契約書」の続きを読むことができます。

❸内容を確認後、「同意します」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック
(同意しない場合セットアップは続行できません)

❹「コンピュータを保護してください」画面が表示されたら、「自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます」、または「後で設定します」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❺「コンピュータに名前を付けてください」画面が表示されたら、名前を入力し、「次へ」ボタンをクリック

❻「管理者パスワードを設定してください」画面が表示されたら、管理者パスワードを入力し、「次へ」ボタンをクリック

❼「このコンピュータをドメインに参加させますか？」画面が表示された場合は、「いいえ」、または「はい」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❽「インターネットを確認しています。」画面が表示された場合は、「省略」ボタンをクリック

❾「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」画面が表示されたら、「いいえ、今回はユーザー登録しません」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❿「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」画面が表示されたら、ユーザ名を入力し、「次へ」ボタンをクリック

ユーザ名を入力しないと、次の操作に進むことはできません。なお、ここで入力した「ユーザー1」の内容が、「システムのプロパティ」の「使用者」として登録されます。「使用者」はセットアップが完了した後には変更できません。変更するには再セットアップが必要です。

⓫「設定が完了しました」画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリック
途中で何度か画面が変わり、デスクトップ画面が表示されるまでしばらくかかります。

Windows XP Professionalのセットアップが終了したら、P.23「電源を切る」の手順に従い、必ず一度電源を切ってください。

2. Windows XP Home Editionのセットアップ

Windows XP Home Editionのセットアップを開始します。

> ・ これ以降は、セットアップの作業が完了するまで、電源スイッチに絶対に触れないでください。セットアップが完了する前に電源を切ると、故障の原因になります。
> ・「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されるまで時間がかかります。しばらくお待ちください。
> ・ 手順④～⑦の設定方法についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

❶「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

❷「使用許諾契約」画面を確認する

をクリックするか、キーボードの【PageDown】を押すと、「契約書」の続きを読むことができます。

❸内容を確認後、「同意します」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック

(同意しない場合セットアップは続行できません)

❹「コンピュータを保護してください」画面が表示されたら、「自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます」、または「後で設定します」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❺「コンピュータに名前を付けてください」画面が表示されたら、名前を入力し、「次へ」ボタンをクリック

❻「インターネットを確認しています。」画面が表示された場合は、「省略」ボタンをクリック

❼「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」画面が表示されたら、「いいえ、今回はユーザー登録しません」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❽「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」画面が表示されたら、ユーザ名を入力し、「次へ」ボタンをクリック

> ユーザ名を入力しないと、次の操作に進むことはできません。なお、ここで入力した「ユーザー1」の内容が、「システムのプロパティ」の「使用者」として登録されます。「使用者」はセットアップが完了した後には変更できません。変更するには再セットアップが必要です。

❾「設定が完了しました」画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリック

途中で何度か画面が変わり、デスクトップ画面が表示されるまでしばらくかかります。

Windows XP Home Editionのセットアップが終了したら、P.23「電源を切る」の手順に従い、必ず一度電源を切ってください。

3. Windows 2000のセットアップ

Windows 2000のセットアップを開始します。

これ以降は、セットアップの作業が完了するまで、電源スイッチに絶対に手を触れないでください。

❶電源ランプが点灯して、「オペレーティングシステムのセットアップ」の画面が表示されたら、【Enter】を押す

自動的に再起動します。

❷「Windows 2000セットアップウィザードの開始」画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

❸「ライセンス契約」画面が表示される

内容をよくご覧の上、次に進んでください。

①▼をクリックして続きを見る

②内容を確認し、「同意します」ボタンをクリック

（同意しない場合、セットアップは続行できません。）

③「次へ」ボタンをクリック

❹「ソフトウェアの個人用設定」画面が表示されたら、名前と組織名を入力する

ここで登録した名前や会社名は、セットアップが完了した後には変更できません。変更するには再セットアップが必要です。『活用ガイド　再セットアップ編』をご覧ください。また、名前は半角英数字で入力してください。ご利用になるアプリケーションによっては、名前に全角文字が使われていると正常に動作しないものがあります。

①名前を入力

名前を入力しないと、次の操作に進むことはできません。

②組織名を入力する場合は、組織名の欄にマウスポインタをあわせてクリック

カーソルが点滅して組織名を入力できるようになります。名前と同じように組織名を入力します。

③「次へ」ボタンをクリック

❺プロダクトキーを入力して「次へ」ボタンをクリック

プロダクトキーは『Windows® 2000 Professionalクイックスタートガイド』をパックしているビニール袋に貼付されています。

❻「コンピュータ名とAdministratorのパスワード」画面が表示されたら、コンピュータ名および、パスワードを入力する

①コンピュータ名を入力

コンピュータ名は後で変更できます。

設定についてはネットワーク管理者にお問い合せください。

②パスワードを入力

パスワードは大文字、小文字を区別しています。パスワードは後で変更できます。ここで入力したパスワードは、絶対忘れないようにしてください。

③パスワードの確認入力の欄をクリックし、もう一度パスワードを入力

④「次へ」ボタンをクリック

❼「Windows 2000セットアップ」画面が表示されたら、「再起動する」ボタンをクリック

自動的に再起動します。

❽再起動後、「ネットワーク識別ウィザードの開始」画面が表示された場合は、「次へ」ボタンをクリック

❾「このコンピュータのユーザー」の画面が表示されたら、必要な項目を入力し、「次へ」ボタンをクリック

設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

❿「ネットワーク識別ウィザードの終了」画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリック

途中で何度か画面が変わり、デスクトップ画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

デスクトップ画面が表示される前に「システム設定の変更」画面が表示される場合があります。その場合はデスクトップ画面が表示されるまで待ち、「Windows 2000の紹介」画面の「終了」ボタンをクリックしてから、「システム設定の変更」画面の「はい」ボタンをクリックして再起動してください。

Windows 2000のセットアップが終了したら、「電源を切る」の手順に従い、必ず一度電源を切ってください。

電源を切る

次の手順で正しく電源を切ってください。

1. Windows XPの終了

❶「スタート」ボタンをクリックし、「終了オプション」をクリック

❷「電源を切る」ボタンをクリック

自動的に電源が切れます。

2. Windows 2000の終了

❶「スタート」ボタンをクリックし、「シャットダウン」をクリック

❷「シャットダウン」を選択し、「OK」ボタンをクリック

自動的に電源が切れます。

以上で、Windowsのセットアップは完了です。
本機を安全にネットワークに接続するために、セキュリティ環境の更新を行います。
P.24「LANケーブルの接続」へ進んでください。

セットアップ中のトラブル対策

電源スイッチを押しても電源が入らない

- **ＡＣアダプタ、電源ケーブルの接続が不完全である事が考えられるので、一度電源ケーブルをコンセントから抜き、本体とＡＣアダプタ、ＡＣアダプタと電源ケーブルがしっかり接続されていることを確認してから、もう一度電源ケーブルをコンセントに差し込む**
  電源ケーブルを接続しなおしても電源が入らない場合は、本体の故障が考えられますので、ご購入元にご相談ください。

セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった

- **電源を入れて、表示される画面をチェックする**
  CHKDSKが実行され、ハードディスクに異常がないときは、セットアップを続行することができます。(CHKDSKは実行されない場合もあります。)
  セットアップが正常に終了した後は問題なくお使いいただけます。エラーメッセージが表示された場合は、システムを起動するためのファイルに何らかの損傷を受けた可能性があります。この場合、Windows は起動しません。Windows を再セットアップするか、ご購入元にご相談ください。
  再セットアップについては、『活用ガイド　再セットアップ編』をご覧ください。

セットアップの途中でパソコンが反応しない、またはエラーメッセージが表示された

- **パソコンが反応しなかったり、エラーメッセージが表示された場合は、メッセージを書き留めた後、本機の電源スイッチを4秒以上押して、強制的に終了する**
  電源が切れた後、再度電源スイッチを入れ、上記の「・電源を入れて、表示される画面をチェックする」をご覧ください。

  本機を安全にネットワークに接続するために、セキュリティ環境の更新を行います。
  次の「LANケーブルの接続」へ進んでください。

LANケーブルの接続

1. 本機を安全にネットワークに接続するために

コンピュータウイルスやセキュリティ上の脅威を避けるためには、お客様自身が本機のセキュリティを意識し、常に最新のセキュリティ環境に更新する必要があります。
LANケーブル(別売)、および無線LANなどを使用して本機を安全にネットワークに接続させるために、以下の対策を行うことを強く推奨します。

稼働中のローカルエリアネットワークに接続する場合は、ネットワーク管理者の指示に従ってLANケーブル、および無線LANなどの接続を行ってください。

❶ファイアウォールの利用

コンピュータウイルスの中には、ネットワークに接続しただけで感染してしまう例も確認されていますので、ファイアウォールを利用することを推奨します。

＜Windows XPの場合＞

Windows XP Service Pack 2では標準で「Windowsファイアウォール」機能が有効になっています。
「Windowsファイアウォール」について、詳しくはWindowsの「ヘルプとサポート」をご覧ください。

＜Windows 2000の場合＞

OSの機能としてファイアウォール機能が搭載されていません。
本機をネットワークに接続させる前に、ファイアウォールソフトを別途入手し、インストールしてファイアウォール機能を有効にすることを推奨します。

❷Windows Update

最新かつ重要なセキュリティの更新情報が提供されています。ネットワークに接続後、Windowsを最新の状態に保つために、Windows Updateで「優先度の高い更新プログラム」、または「重要な更新とService Pack」の更新を定期的に実施してください。

Windows Updateについて、詳しくはWindowsの「ヘルプとサポート」、または「ヘルプ」をご覧ください。

❸ウイルス対策アプリケーションの利用

本機にはウイルスを検査・駆除するアプリケーション(ウイルススキャン)が「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」、または「バックアップCD-ROM(OSを除く)/アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」に添付されています。

コンピュータウイルスから本機を守るために、ウイルススキャンをインストールすることを推奨します。

ウイルススキャンはインストールした環境のまま使用し続けた場合、十分な効果は得られません。日々発見される新種ウイルスに対応するためウイルス定義(DAT)ファイルを最新の状態にする必要があります。

ウイルス定義(DAT)ファイルの無償提供期間は登録後90日間です。
引き続きお使いになる場合は、継続利用のお申し込み(有償)が必要です。

ウイルススキャンについて、詳しくは『活用ガイド　ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「ウイルススキャン」をご覧ください。

メモ

Windows XPのセキュリティ機能(Windowsセキュリティセンター)では、Windowsファイアウォール、Windows Updateの自動更新、ウイルス対策アプリケーションが有効になっているかどうかをリアルタイムで監査し、無効になっている場合は画面に警告を表示します。

LANケーブルを接続する場合は、「2. LANケーブル(別売)を接続する」へ進んでください。

2. LANケーブル(別売)を接続する

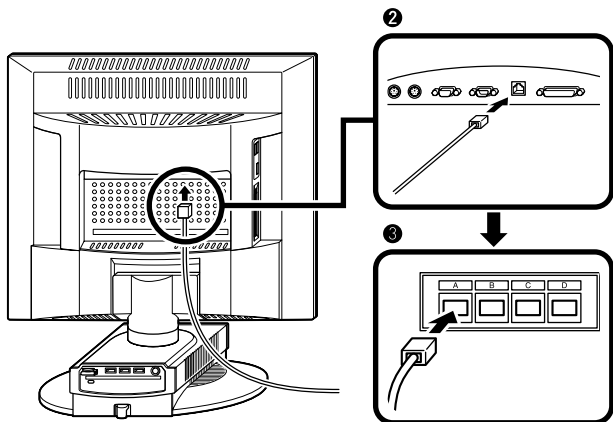
必要に応じて次の接続を行ってください。
LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、LANケーブル(別売)を使い、次の手順で接続します。

稼働中のLANに接続する場合は、ネットワーク管理者の指示に従ってLANケーブルの接続を行ってください。

❶P.13「❷-②本体背面のケーブルカバーを取り外す」と同じ方法で、ケーブルカバーを取り外す

❷LANケーブルのコネクタを、本体のアイコン( )に従って接続する

LANケーブルを接続する際、過度の力がかかると本体が転倒するおそれがありますので、必ず本体上部を片方の手で支えながら接続してください。

❸ハブやスイッチに、LANケーブルのもう一方のコネクタを接続する

❹手順❶で取り外したケーブルカバーの上側から出ている2つのツメを、本体側の穴に入れてから、ケーブルカバーを元通り取り付ける

以上で、LANケーブルの接続は完了です。
スマートセレクション、およびフリーセレクションで、Office Personal 2003、およびOffice Professional Enterprise 2003を選択した場合は、次の「Microsoft® Office 2003 Service Pack 1をインストールする(Office 2003モデルのみ)」へ進んでください。その他の場合はP.28「6 お客様登録」へ進んでください。

Microsoft® Office 2003 Service Pack 1をインストールする(Office 2003モデルのみ)

Office Personal 2003モデル、またはOffice Professional Enterprise 2003モデルをお使いの方は、電子マニュアル(『活用ガイド ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「Office Personal 2003」の「Office 2003 SP1、Home Style+ SP1の追加」、または「Office Professional Enterprise 2003」の「Office 2003 SP1の追加」)をご覧になり、それぞれ必要なService Packをインストールしてください。

メモ

- 電子マニュアルの参照方法については、P.30「7 マニュアルの使用方法」の「電子マニュアルの使用方法」をご覧ください。
- インストールの途中で「Office Personal 2003」、または「Office Professional Enterprise 2003」のCD-ROMが必要になる場合があるので、あらかじめ用意しておいてください。

以上で、Microsoft® Office 2003 Service Pack 1のインストールは完了です。
次のページの「6 お客様登録」へ進んでください。

6 お客様登録

本製品のお客様登録はInternet Explorerの「お気に入り」メニューにある「NEC 8番街 (企業向け情報／お客様登録)」からインターネットによる登録を行ってください(登録料、会費は無料です)。

メモ

Microsoft社に対するユーザー登録は、「ユーザー登録ウィザード」で行うことができます。「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」を選択し、「名前」に「regwiz /r」と入力してください。ユーザー登録についての詳細は「ヘルプとサポート」、またはWindowsのヘルプをご覧ください。

以上でお客様登録は完了です。
次の「7 マニュアルの使用方法」へ進んでください。

7 マニュアルの使用方法

本機に添付、またはCD-ROM（「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」、または「バックアップCD-ROM（OSを除く）/アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」）に格納されているマニュアルを紹介します。目的にあわせてお読みください。
また、マニュアル類はなくさないようにご注意ください。マニュアル類をなくした場合は『活用ガイド　ソフトウェア編』の「トラブル解決Q&A」の「その他」をご覧ください。

マニュアルの使用方法

※印のマニュアルは、「Mate/Mate J 電子マニュアル」として「アプリケーション CD-ROM/ マニュアル CD-ROM」、または「バックアップ CD-ROM（OS を除く）/ アプリケーション CD-ROM/ マニュアル CD-ROM」に入っています。「Mate/Mate J 電子マニュアル」の使用方法については、P.30「電子マニュアルの使用方法」をご覧ください。

●『安全にお使いいただくために』
本機を安全にお使いいただくための情報を記載しています。使用する前に必ずお読みください。

●Windows 2000 Professional OS用ガイド(Windows 2000モデルのみ)

『Microsoft® Windows® 2000 Professionalクイックスタートガイド』
Windowsの全般的な基礎知識や基本的な操作方法を確認したいときにお読みください。
(ヘルプの中にあるオンライン形式の『Windows 2000 Professionalファーストステップガイド』でもご覧いただけます。)

●『活用ガイド　再セットアップ編』

本機のシステムを再セットアップするときにお読みください。

●『活用ガイド　ハードウェア編　液晶一体型』　※

本体の各部の名称と機能、内蔵機器の増設方法、システム設定(BIOS設定)について確認したいときにお読みください。

●『活用ガイド　ソフトウェア編』　※

アプリケーションの概要と削除/追加、ハードディスクのメンテナンスをするとき、他のOSをセットアップする(Mate JではプリインストールされているOS以外は使用できません)とき、またはトラブルが起きたときにお読みください。

●『環境ガイド』

環境に関する情報について知りたいときにお読みください。

●選択アプリケーションのマニュアル

Office Personal 2003、またはOffice Professional Enterprise 2003を選択した場合、マニュアルが添付されています(P.2「1 型番を控える」をご覧ください)。ご利用の際にお読みください。

●無線LAN用マニュアル　※

『無線LAN(IEEE802.11a/b/g)について』
無線LAN各機能について知りたいときにお読みください。

●『保証規定&修理に関するご案内』

パソコンに関する相談窓口、保証期間と保証規定の詳細内容およびQ&A、有償保守サービス、お客様登録方法、NECの企業向け情報機器関連総合サイト「NEC 8番街」について知りたいときにお読みください。

Microsoft関連製品の情報について

次のWebサイト(Microsoft Press)では、一般ユーザー、ソフトウェア開発者、技術者、およびネットワーク管理者用にMicrosoft関連製品を活用するための書籍やトレーニングキットなどが紹介されています。

http://www.microsoft.com/japan/info/press/

電子マニュアルの使用方法

電子マニュアルを使用する場合は、次の手順で起動してご覧ください。

❶CD-ROMドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、またはDVDスーパーマルチドライブに、本機に添付の「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」、または「バックアップCD-ROM(OSを除く)/アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」をセットする

❷「エクスプローラ」、または「マイコンピュータ」を開く

❸CD-ROMドライブのアイコンをダブルクリック

❹「_manual」フォルダをダブルクリックし、「index」ファイルをダブルクリック

「Mate/Mate J 電子マニュアル」が表示されます。

PDF形式のマニュアル(ファイル)をご覧いただくときの補足事項

あらかじめ、本機にAdobe Readerをインストールしておく必要があります。詳しくは『活用ガイド　ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「Adobe Reader」をご覧ください。

メモ

- 必要に応じて「_manual」フォルダをハードディスクのルートディレクトリにコピーしてご利用ください。
  「_manual」フォルダをハードディスクのルートディレクトリにコピーしてご利用の際、フォルダ名・ファイル名などは変更しないでください。コピー先のフォルダ名はすべて英数字の半角文字である必要があります。それ以外の文字(「デスクトップ」等の日本語)のフォルダ名にコピーすると起動することができなくなります。
- Windowsが起動しなくなったなどのトラブルが発生した場合は、電子マニュアルをご覧になることができません。そのため、あらかじめ「トラブル解決Q&A」を印刷しておくと便利です。
- NECの企業向け情報機器関連総合サイト「NEC 8番街」では、NEC製のマニュアルを電子マニュアル化し、ダウンロードできるサービスを行っております。
  http://nec8.com/
  「サポート情報」→「商品情報・消耗品」→「本体添付マニュアル」の「ビジネスPC(電子マニュアル)」から、電子マニュアルビューアをご覧ください。
  また、NEC PCマニュアルセンターでは、マニュアルの販売を行っています。
  http://pcm.mepros.com/

以上でマニュアルの使用方法は完了です。
次のページの「8 使用する環境の設定と上手な使い方」へ進んでください。

8 使用する環境の設定と上手な使い方

本機を使用する環境や運用･管理する上で便利な機能を設定します。機能の詳細や設定方法については、『活用ガイド　ハードウェア編　液晶一体型』、および『活用ガイドソフトウェア編』をご覧ください。

1. 最新の情報を読む

補足説明

補足説明には、本製品のご利用にあたって注意していただきたいことや、マニュアルには記載されていない最新の情報について説明していますので削除しないでください。以下の方法でお読みください。

■Windows XPの場合

・「Mate/Mate J 電子マニュアル」を起動して「補足説明」をクリック

・「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「補足説明」をクリック

■Windows 2000の場合

・「Mate/Mate J 電子マニュアル」を起動して「補足説明」をクリック

・「スタート」ボタン→「プログラム」→「補足説明」をクリック

2. Windows XP のService Packについて

Windows XPをお使いの場合、本機にはService Pack 2がインストールされています。

Service Pack 2を削除することにより、使用できなくなる機能、機器がありますので、Service Pack 2は削除しないでください(使用できなくなる機能、機器についての詳細は『活用ガイド　ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加(Windows XP Professional、Windows XP Home Editionの場合)」の「「Service Pack」について」をご覧ください)。

また、Service Pack 1の適用に関する情報を下記サイトにて提供しております。Service Pack 1を追加する場合は、下記サイトをご参照の上、ご適用ください。

http://nec8.com/care/windowsxpsp2/index.html

3.Windows 2000のService Packについて

Service Pack 4

Windows 2000をお使いの場合、本機にはService Pack 4がインストールされています。ただし、Service Pack 4を削除することはできません。

4. Securityの設定

管理パスワード／ユーザパスワード、ハードディスクパスワード、筐体ロックなど

本機には、本機の不正使用を防止する機能(管理パスワード／ユーザパスワード)、ハードディスクドライブが盗難にあってもデータの漏洩を防ぐ機能(ハードディスクパスワード)、本体の盗難を防止するため、錠をかける機能(筐体ロック)があります。この他にも便利な機能があります。詳しくは、『活用ガイド　ハードウェア編　液晶一体型』の「PART1　本体の構成各部」の「セキュリティ機能/マネジメント機能」をご覧ください。

5. データのバックアップの設定

データのバックアップ方法については、『活用ガイド ソフトウェア編』の「メンテナンスと管理」の「ハードディスクのメンテナンス」をご覧ください。

❶StandbyDisk Solo

ハードディスク内にある第1パーティション(Cドライブ)の使用領域とほぼ同じ容量をバックアップ先(スタンバイ・エリア)として同パーティション内に確保し、使用領域のバックアップを行います。
稼動中のシステムに障害が起きた際、スタンバイ・エリアからシステムを起動しシステムを復旧することが可能です。
StandbyDisk Soloは「ハードディスク(StandbyDisk Soloあり)」を選択した場合のみ添付されています。
詳しくは『活用ガイド　ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「StandbyDisk Solo」をご覧ください。

❷StandbyDisk Solo RB

ハードディスク内にある第1パーティション(Cドライブ)の使用領域とほぼ同じ容量をバックアップ先(以後スタンバイ・エリア)として同パーティション内に確保し、使用領域のバックアップを行います。稼動中のシステムに障害が起きた際、スタンバイ・エリアからシステムを起動することで、ハードウェア障害であるか、あるいはソフトウェア障害であるかを絞り込むことが可能です。
なお、StandbyDisk Solo RBからStandbyDisk Soloへのアップグレードを次のWebサイトから有償で行うことができます。
http://www.netjapan.co.jp/solo/rb1a4/

また、「StandbyDisk Solo RBインストールガイド」を利用して、「StandbyDisk Solo RB」をインストールすることができます。

「StandbyDisk Solo RBインストールガイド」は次の方法で起動することができます。

■ **Windows XPの場合**

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「メンテナンスツール」→「StandbyDisk Solo RBインストールガイド」をクリック

■ **Windows 2000の場合**

「スタート」ボタン→「プログラム」→「メンテナンスツール」→「StandbyDisk Solo RBインストールガイド」をクリック

なお、StandbyDisk Solo RBは、Mateのみ使用できます。

6. LANDesk Management Agentのセットアップについて

本機にはLANDesk Management Agentが添付されています。
LANDesk Management AgentはLANDesk Software®, Ltd.から販売されているLANDesk® Management Suite(別売)を使用してLANDesk® Management Suiteクライアントエージェントのリモートインストールをサポートするアプリケーションです。
LANDesk Management Suiteクライアントエージェントをインストールすることにより、LANDesk Management Suiteによる管理を可能にし、情報機器のソフトウェア、およびハードウェアの資産管理、セキュリティパッチの適用状況、OSやアプリケーションの更新などができます。
LANDesk Management Agentのセットアップ方法については、本体添付の「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」内の「LDMA」ディレクトリの「SETUP.TXT」をご覧ください。
LANDesk Management Agentは、MateのWindows XP Professionalモデルのみ使用できます。

7. 上手な使い方

❶トラブルを防止するために

本機のトラブルを予防し、効率よくマネジメントするためには、電源の入れ方/切り方や、エラーチェックなどいくつかのポイントがあります。
また、トラブルが起きてしまった場合にそなえ、「システム修復ディスク」をあらかじめ作成しておくことをおすすめします。「システム修復ディスク」の作成方法は、『活用ガイド 再セットアップ編』を、その他のトラブルの予防については、『活用ガイド　ソフトウェア編』の「トラブル解決Q&A」の「トラブルを予防するには…」をご覧ください。

❷本機のお手入れ

本機を安全に、快適に使用するためには、電源ケーブルやマウスなど定期的にお手入れが必要です。詳しくは、『活用ガイド　ハードウェア編　液晶一体型』の「PART4　付録」の「お手入れについて」をご覧ください。

使用開始日表示ユーティリティ

本製品の保証期間は、製品ご購入日、もしくは初回電源投入日のどちらか遅い方の日から開始します。
初回電源投入日、型番、製造番号、構成コードは以下の方法で確認することができます。

■ Windows XPの場合

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「メンテナンスツール」→「使用開始日表示ユーティリティ」をクリック

■ Windows 2000の場合

「スタート」ボタン→「プログラム」→「メンテナンスツール」→「使用開始日表示ユーティリティ」をクリック

本製品の保証についての詳細は『保証規定＆修理に関するご案内』をご覧ください。

9 付録　機能一覧

仕様一覧

<table>
<tr><td colspan="3">型名*1</td><td>MY11F/FE-F
MJ11F/FE-F</td><td>MY11F/FR-F
MJ11F/FR-F</td></tr>
<tr><td colspan="3">CPU</td><td colspan="2">超低電圧版 インテル® Pentuim® M プロセッサ 733
(拡張版 Intel SpeedStep® テクノロジ*38 搭載)</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">クロック周波数</td><td colspan="2">1.10 GHz</td></tr>
<tr><td rowspan="2">キャッシュメモリ
(CPU 内蔵)</td><td colspan="2">1 次</td><td colspan="2">32KB 命令実行トレース/32KB データ</td></tr>
<tr><td colspan="2">2 次</td><td colspan="2">2,048KB</td></tr>
<tr><td colspan="3">BIOS ROM (Flash ROM)</td><td colspan="2">512KB、プラグ&プレイ対応</td></tr>
<tr><td colspan="3">システムバス</td><td colspan="2">400MHz（メモリバス：333MHz）</td></tr>
<tr><td colspan="3">チップセット</td><td colspan="2">インテル® 855PM チップセット</td></tr>
<tr><td colspan="3">グラフィックアクセラレータ</td><td colspan="2">ATI 社製 MOBILITY™ RADEON™ 9200 (スムージング機能*13 をサポート)</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">ビデオ RAM</td><td colspan="2">32MB DDR</td></tr>
<tr><td colspan="3">最大メモリ (メインメモリ)</td><td colspan="2">2GB [SO-DIMM スロット× 2] *4</td></tr>
<tr><td rowspan="6">表示機能</td><td rowspan="5">解像度・
表示色</td><td>640 × 480 ドット (VGA)</td><td colspan="2">最大 1,677 万色*41 *42</td></tr>
<tr><td>800 × 600 ドット (SVGA)</td><td colspan="2">最大 1,677 万色*41 *42</td></tr>
<tr><td>1,024 × 768 ドット (XGA)</td><td colspan="2">最大 1,677 万色*41 *42</td></tr>
<tr><td>1,280 × 1,024 ドット (SXGA)</td><td>最大 1,677 万色*5 *41</td><td>最大 1,677 万色*24</td></tr>
<tr><td>1,600 × 1,200 ドット (UXGA)</td><td colspan="2">最大 1,677 万色*24</td></tr>
<tr><td colspan="2">液晶ディスプレイ</td><td>17 型 TFT カラー液晶 (SXGA) *7</td><td>15 型 TFT カラー液晶 (XGA) *7</td></tr>
<tr><td rowspan="3">サウンド機能</td><td colspan="2">音源／サウンド機能</td><td colspan="2">PCM 録音再生機能 (ステレオ / モノラル、量子化 8 ビット/16 ビット、サンプリングレート 8-48kHz、全二重化対応)、MIDI 音源機能 (ソフトウェア MIDI [XG、XG-Lite、GM、GS 演奏モード対応、DLS2 対応*33])、マイクノイズ除去機能*34、3D ポジショナルサウンド</td></tr>
<tr><td colspan="2">スピーカ／スピーカ定格出力</td><td colspan="2">ステレオスピーカ内蔵 (LCD 部) /1.1W+1.1W</td></tr>
<tr><td colspan="2">サウンドチップ</td><td colspan="2">ADI 社製 AD1981B 搭載</td></tr>
<tr><td rowspan="11">インターフェイス</td><td colspan="2">USB *11</td><td colspan="2">6 (LCD 部左側面× 3、脚部背面× 3) [USB 接続キーボード選択時、1 ポートをキーボードで占有済]、USB2.0 対応*12</td></tr>
<tr><td colspan="2">パラレル</td><td colspan="2">セントロニクス準拠 D-sub25 ピン</td></tr>
<tr><td colspan="2">シリアル</td><td colspan="2">RS-232C D-sub9 ピン 、最高 115.2kbps 対応</td></tr>
<tr><td>ディスプレイ</td><td>アナログ RGB</td><td colspan="2">アナログ RGB セパレート信号出力 (75 Ωアナログインターフェイス)、ミニ D-sub15 ピン</td></tr>
<tr><td colspan="2">PS/2</td><td colspan="2">ミニ DIN6 ピン× 2 [PS/2 接続キーボード選択時、キーボード及びマウスで占有済]</td></tr>
<tr><td colspan="2">通信関連</td><td colspan="2">RJ45 (100BASE-TX/10BASE-T) LAN コネクタ</td></tr>
<tr><td rowspan="4">サウンド関連</td><td>マイク入力</td><td colspan="2">ステレオミニジャック× 1
(マイク入力インピーダンス 20kΩ、入力レベル 5mVrms、バイアス電圧 3.7V)</td></tr>
<tr><td>ライン入力</td><td colspan="2">ステレオミニジャック× 1
(入力インピーダンス 20kΩ、入力レベル 1Vrms)</td></tr>
<tr><td>ヘッドフォン出力</td><td colspan="2">ステレオミニジャック× 1
(対応ヘッドフォンインピーダンス 16 Ω -100 Ω「推奨 32 Ω」、出力電力 5mW/32 Ω)</td></tr>
<tr><td>ライン出力</td><td colspan="2">ヘッドフォン出力と共用 (出力レベル 1Vrms、出力インピーダンス 10k Ω)</td></tr>
<tr><td colspan="4" style="display:none"></td></tr>
<tr><td>記憶装置</td><td colspan="2">FDD</td><td colspan="2">3.5 型フロッピーディスクドライブ (3 モード対応*30)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ベイ</td><td colspan="2">内蔵 3.5 型ベイ [空き]</td><td colspan="2">1 スロット (標準 HDD で占有済) [0]</td></tr>
<tr><td colspan="2">VersaBay Ⅳ b [空き]</td><td colspan="2">1 スロット (CD-ROM、CD-R/RW with DVD-ROM または DVD スーパーマルチドライブで占有済) [0]</td></tr>
<tr><td>拡張スロット</td><td colspan="2">PC カードスロット</td><td colspan="2">Type Ⅰ / Ⅱ × 2 スロット
(Type Ⅲ × 1 スロットとしても使用可、PC Card Standard 準拠、Card Bus 対応)</td></tr>
</table>

型名*1		MY11F/FE-F MJ11F/FE-F	MY11F/FR-F MJ11F/FR-F
電源		AC100V ± 10%、50/60Hz（AC アダプタ経由）	
消費電力*22 （最大構成時）	Windows® XP Professional での測定値	約 49W（最大約 81W）	約 36W（最大約 69W）
	Windows® 2000 Professional での測定値	約 49W（最大約 81W）	約 36W（最大約 69W）
皮相電力*22 （最大構成時）	Windows® XP Professional での測定値	約 49VA（最大約 82VA）	約 36VA（最大約 70VA）
	Windows® 2000 Professional での測定値	約 49VA（最大約 82VA）	約 36VA（最大約 70VA）
エネルギー消費効率（省エネ基準達成率）*22 *23	Windows® XP Professional での測定値	P 区分 0.00079（AAA）	P 区分 0.00079（AAA）
	Windows® 2000 Professional での測定値	P 区分 0.00079（AAA）	P 区分 0.00079（AAA）
電波障害対策		VCCI ClassB	
外形寸法（本体）		410（W）× 226（D）× 447.5（H）mm *25	370（W）× 226（D）× 404.5（H）mm *25
質量（本体）*22		約 10.5kg	約 9.5kg
温湿度条件		10 ～ 35℃、20 ～ 80%（ただし結露しないこと）	
インストール可能 OS *26 *27 *36		Windows® XP Professional (SP2) /Home Edition (SP2)、Windows® 2000 Professional (SP4) /Server (SP4)	
主な添付品		電子マニュアル（一部印刷マニュアル）、AC アダプタ、保証書、Windows® 2000 Professional CD-ROM（Windows® 2000 Professional（DSP 版）のみ）、アプリケーション CD-ROM/ マニュアル CD-ROM（Windows® 2000 Professional（DSP 版）ではバックアップ CD-ROM（OS を除く）/ アプリケーション CD-ROM/ マニュアル CD-ROM）	

＊ 1：セレクションメニューを選択した構成での型名・型番については、本書の『型番を控える』をご覧ください。

＊ 4：メモリを拡張する場合は、標準搭載されている増設 RAM ボードを取り外す必要がある場合があります。

＊ 5：グラフィックアクセラレータの持つ解像度および色数の能力であり、接続するディスプレイによっては、表示できないことがあります。

＊ 7：液晶ディスプレイは非常に高精度な技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかな黒い点や、常時点灯する赤、青、緑の点が見えることがあります。また、見る角度によっては色むらや明るさのむらが見えることがあります。これらは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。

＊11：別売のインストール可能 OS 使用時は OS 用ドライバに USB2.0 ドライバは含まれません。

＊12：USB 接続キーボードの USB ハブを経由すると、USB 転送速度が最大 12Mbps に制限されます。

＊13：文字や画面をなめらかに拡大する機能です。

＊22：OS は Windows® XP Professional、メモリは 256MB（エネルギー消費効率はメモリ 2GB）、HDD は 40GB（質量は HDD 160GB）、LAN、CD-ROM、FDD、USB109 キーボード、USB マウス（ボール）の構成にて測定。

＊23：エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。省エネ基準達成率の表示語 A は達成率 100% 以上 200% 未満、AA は達成率 200% 以上 500% 未満、AAA は達成率 500% 以上を示します。

＊24：本体背面のミニ D-sub15 ピンにアナログディスプレイを接続する場合のみこのモードを表示することができます。尚、このモードをサポートしていないディスプレイにつきましては表示することができません。

＊25：足以外の突起物含まず。

＊26：インストール可能OS用ドライバは本体に添付しておりません。また、Mate JではプリインストールされているOS以外は使用できません。「http://nec8.com/」の上段ボタン中「サポート情報」の「ダウンロード・OS 情報・注意事項」→「ダウンロード（ビジネス PC/ プリンタ /PC 周辺機器）」の「インストール可能 OS 用ドライバ（サポート OS 用ドライバ）」の「Mate」に順次掲載いたします。なお、インストール可能 OS をご利用の際、インストール / 添付アプリケーションがご利用いただけない等、いくつか制限事項があります。必ずご購入前に、上記 HP の「インストール可能 OS をご利用になる前に必ずお読みください」をご覧になり、制限事項を確認してください。

＊27：以下のOSとセレクションメニューの組合せは、インストール可能OSで使用できません。購入時にご注意ください。Windows® 2000 Professional/Server では、無線 LAN 機能がご利用いただけません。この他にもインストール可能 OS をご利用の際の制限事項がございますので＊ 26 をご覧ください。

＊30：3 モード（720KB/1.2MB/1.44MB）に対応。なお、Windows® XP Professional、Windows® XP Home Edition、Windows® 2000 Professional での 1.2MB への対応は、ドライバのセットアップが必要（標準添付）。Windows® XP Professional および Windows® XP Home Edition では、1.44MB 以外（640KB/720KB/1.2MB）はフォーマット不可。Windows® 2000 Professional では 640KB のフォーマット不可。

＊33：DLS は「DownLoadable Sounds」の略です。DLS を使うと、カスタム・サウンド・セットを SoundMAX シンセサイザにロードできます。

＊34：ノイズ除去機能によって、音声入力信号から周辺雑音が取り除かれ、クリーンでクリアな信号がアプリケーションに渡されます。

＊36：「SP」は「Service Pack」の略称です。インストール可能OS用ドライバは（ ）内のService Packのバージョンにてインストール手順の確認をおこなっているものです。インストール可能OSを使用する場合は（ ）内のService Packを適用してご使用ください。別売のOSとService Packは別途入手が必要となります。

＊38：Windows® XP Professional、Windows® XP Home Editionのみ使用可能。この機能はシステム負荷に応じて動作性能を切り替える機能です。

＊41：本体内蔵液晶ディスプレイではディザリング機能によって、擬似的に表現されます。

＊42：グラフィックアクセラレータの持つ最大発色数です。

◆セレクションメニュー*60

型名*1		MY11F/FE-F MJ11F/FE-F	MY11F/FR-F MJ11F/FR-F
再セットアップ用データ*61	HDD	再セットアップ用バックアップイメージをHDDに格納*83 (Windows® XP Professional/Home Edition モデルのみ)	
	CD-ROM	再セットアップ用CD-ROM添付*86 (Windows® XP Professional/Home Edition モデルのみ)	
メモリ	256MB	ECC無しDDR-SDRAM、PC2700、256MB SO-DIMM×1	
	512MB	ECC無しDDR-SDRAM、PC2700、512MB SO-DIMM×1	
	1GB	ECC無しDDR-SDRAM、PC2700、512MB SO-DIMM×2	
	2GB	ECC無しDDR-SDRAM、PC2700、1,024MB SO-DIMM×2	
ハードディスク*66	40GB	約40GB、Serial ATA対応、7,200rpm、SMART機能対応	
	80GB	約80GB、Serial ATA対応、7,200rpm、SMART機能対応	
	160GB	約160GB、Serial ATA対応、7,200rpm、SMART機能対応	
CD-ROM系*70	CD-ROM	最大24倍速	
	CD-R/RW with DVD-ROM*71*72	DVD-ROM読み込み：最大8倍速、DVD-RAM読み込み：最大1倍速*76*89、CD-ROM読み込み：最大24倍速、CD-R書き込み：最大24倍速、CD-RW書き換え：最大10倍速(High Speed CD-RWメディア対応*74、バッファアンダーランエラー防止機能付き)	
	DVDスーパーマルチドライブ*71*72	DVD-RAM読み込み：最大3倍速*76、DVD-RAM書き換え：最大3倍速*76、DVD+RW書き換え：最大4倍速、DVD-RW書き換え：最大4倍速*78、DVD+R書き込み：最大8倍速、DVD-R書き込み：最大8倍速*77、DVD-ROM読み込み：最大8倍速、CD-ROM読み込み：最大24倍速、CD-R書き込み：最大24倍速、CD-RW書き換え：最大10倍速(High Speed CD-RWメディア対応*74、バッファアンダーランエラー防止機能付き)	
通信機能	LAN	100BASE-TX/10BASE-T、Remote Power On機能標準装備	
	無線LAN (IEEE802.11a/b/g)*62	IEEE802.11a/b/g準拠*79*84、WPA対応、WEP対応〔暗号鍵長64/128/152ビット(ユーザ設定鍵長40/104/128ビット)〕	
キーボード・マウス	USB 109キーボード＋USBマウス(ボール)	JIS標準配列(英数、かな)、109キーレイアウト、テンキー付、USB1.1対応バスパワードハブ(2ポート)*82、USBインターフェイス、外形寸法：472(W)×179(D)×39(H)mm、質量：約1.2kg、USBスクロールマウス(ボール)付き	
	PS/2 109キーボード＋PS/2マウス(ボール)	JIS標準配列(英数、かな)、109キーレイアウト、テンキー付、PS/2インターフェイス、外形寸法：456(W)×169(D)×40(H)mm、質量：約0.9kg、PS/2スクロールマウス(ボール)付き	
	テンキー付きUSB小型キーボード＋USBマウス(ボール)	JIS標準配列(英数、かな)、テンキー付、USB1.1対応バスパワードハブ(2ポート)*82、USBインターフェイス、外形寸法：382(W)×179(D)×44(H)mm、質量：約1.2kg、USBスクロールマウス(ボール)付き	
	テンキー付きPS/2小型キーボード＋PS/2マウス(ボール)	JIS標準配列(英数、かな)、テンキー付、PS/2インターフェイス、外形寸法：382(W)×179(D)×44(H)mm、質量：約1.2kg、PS/2スクロールマウス(ボール)付き	

*60：セレクションメニュー中の各オプションは単体販売は行っておりません。

*61：セレクションによっては、再セットアップ用CD-ROMは本体添付されておりません。HDDに格納してある再セットアップ用バックアップイメージ破損や誤って消去した場合などの媒体購入方法はhttp://nx-media.ssnet.co.jpをご参照ください。

*62：業界団体Wi-Fi Allianceの標準規格「Wi-Fi®」認定を取得した無線LANモジュールを内蔵しております。

*66：Windows® XP Professional、Windows® XP Home Editionは、20GBがNTFS、残りもNTFSでフォーマット済み。Windows® 2000 Professionalは、20GBがFAT32、残りはNTFSでフォーマット済み。また、Windows® XP Professional、Windows® XP Home Editionでは最後の約2.5GBを再セットアップ領域として使用。ただしセレクションメニューで再セットアップ用CD-ROM添付を選択した場合、HDDに再セットアップ用バックアップイメージは格納されておりません。

*70：コピーコントロールCD等の一部の音楽CDの作成および再生ができない場合があります。

*71：書き込みツール「RecordNow/DLA」が添付されます。

*72：DVDビデオ再生ツール「InterVideo® WinDVD™ 4」が添付されます。

*74：CD-RWメディアの書き換えにおいて、High Speed CD-RWメディアが使用できます。8倍速以上で書き換えるには、High SpeedCD-RWメディアが必要です。

*76：片面4.7GBのDVD-RAMの速度です。カートリッジタイプのDVD-RAMメディア(TYPE1)はご使用できません。また標準でサポートされるフォーマットはFAT32のみです。

*77：DVD-RはDVD for General Ver2.0に準拠したディスクの書き込みに対応しています。

*78：DVD-RWは、DVD-RW Ver1.1に準拠したディスクの書き込みに対応しています。

*79：接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のアプリケーションソフトウェア、OSなどによっても通信速度、通信距離に影響する場合があります。また、IEEE802.11b/g(2.4GHz)とIEEE802.11a(5GHz)は互換性がありません。

＊82：USB コネクタから 100mA 以下の電流を消費する機器のみ接続できます。また、USB2.0 は未サポート。

＊83：ハードディスク内の約 2.5GB を再セットアップ領域として使用。これらの再セットアップ用バックアップイメージを CD-R 媒体に書き出す際は、セレクションメニューで選択可能な CD-R/RW with DVD-ROM または DVD スーパーマルチドライブが必要です。

＊84：Super AG™ に対応。Super AG™ 機能を使用するには、接続先の無線 LAN 機器も Super AG™ に対応している必要があります。

＊86：再セットアップ用 CD-ROM 添付を選択した場合、HDD に再セットアップ用バックアップイメージは格納されておりません。

＊89：Windows® 2000 Professional では DVD-RAM メディアは読み込みできません。

LAN

●規格概要

項目	規格概要
準拠規格	ISO 8802-3、IEEE802.3、IEEE802.3u
ネットワーク形態	スター型ネットワーク
伝送速度	100BASE-TX 使用時：100Mbps 10BASE-T 使用時：10Mbps
伝送路	100BASE-TX 使用時：UTP カテゴリ５ 10BASE-T 使用時：UTP カテゴリ３または５
信号伝送方式	ベースバンド伝送方式
ステーション台数	最大 1024 台／ネットワーク
ステーション間距離／ネットワーク経路長※	100BASE-TX：最大約 200m ／ステーション間 10BASE-T：最大約 500m ／ステーション間 最大 100m ／セグメント
メディアアクセス制御方式	CSMA/CD 方式

※：リピータの台数など、条件によって異なります。

無線LAN（IEEE802.11a/b/g）

無線LAN（IEEE802.11a/b/g）は、2.4GHz無線LAN（IEEE802.11b/g）規格と5GHz無線LAN（IEEE802.11a）規格を切り替えて通信することができる無線LANです。 それぞれの無線LAN規格の概要は以下の通りです。
無線LAN（IEEE802.11a/b/g）は、Atheros Communications社が開発したワイヤレス通信の高速化技術「Super AG™」に対応しています。※4

●2.4GHｚ無線LAN（IEEE802.11b/g）規格概要

項目	規格概要
準拠規格	IEEE802.11g、IEEE802.11b ARIB STD-T66
通信モード	IEEE802.11g ： 54/48/36/24/18/12/6 (Mbps モード) ※1 IEEE802.11b ： 11/5.5/2/1 (Mbps モード) ※1
変調方式	OFDM 方式 (54/48/36/24/18/12/6Mbps モード時) DS-SS 方式 (11/5.5/2/1Mbps モード時)
無線チャンネル	1 ～ 13ch
周波数帯域	2.4GHz 帯域 (2.4 ～ 2.4835GHz)
セキュリティ機能	WPA (TKIP/AES) WEP (鍵長 64bit/128bit/152bit ※2) IEEE802.1X

●5GHz無線LAN（IEEE802.11a）規格概要

項目	規格概要
準拠規格	IEEE802.11a ARIB STD-T71
通信モード	54/48/36/24/18/12/6 (Mbps モード) ※1
変調方式	OFDM 方式
無線チャンネル	34ch、38 ｃｈ、42 ｃｈ、46 ｃｈ
周波数帯域	5GHz 帯域 (5.15 ～ 5.25GHz) ※3
セキュリティ機能	WPA (TKIP/AES) WEP (鍵長 64bit/128bit/152bit ※2) IEEE802.1X

※１：各規格による理論的な通信速度をもとにした通信モード表記であり、実効速度とは異なります。
※２：設定可能な鍵長は、それぞれ 40bit、104bit、128bit です。
※３：5GHz 無線 LAN の使用は、電波法令により屋内に限定されます。
※４：Super AG™ 機能を使用するには、接続先の無線 LAN 機器も Super AG™ に対応している必要があります。

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたら、ご購入元、またはNEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
(4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
(5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
(6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
(7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows XPまたはWindows 2000および本機に添付のCD-ROMは、本機のみでご使用ください。
(8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
(9) ハードウェアの保守情報をセーブしています。
(10) 本書に記載しているWebサイトは、2004年9月現在のものです。

初版 2004年 10月

853-810602-156-A
Printed in Japan

このマニュアルは再生紙(古紙率100%)を使用しています。